

## 携帯メールでの問いかけ

講義で、「宇宙カレンダー」、「個体発生は系統発生」、「受精のメカニク」、「胎児の成長」、そして「出産」、等々に触れる中で、人間相手である保育士を目指す学生に「生命」を考えさせている。

ある学生から、「初めての授業で『命とはなんですか』と阿部先生はわたし達に聞かれました。わたしは考えたけれど答えが見つかりませんでした。でも人それぞれ考えが違うので答えというものはないとは思っています。けれどわたしは阿部先生の意見を聞いてみたいのでメールをしてみました。阿部先生のお返事待っています。」との携帯メール。

こうしたメールは、実に私自身勉強になる。携帯メールは字数制限もあり、簡潔に返事を送信しなくてはならない。私の考えをこの学生に理解できることばで、しかも制限字数の中で、簡潔にどう表現（文字にする）するか、我が力量、知力も問われることになる。

しかし、こうした「やりとり」こそ教育活動と思うので、大いに自らも苦悩しながらも必ず返信に努めている。

私の返信に、「ありがとうございます。先生の考えを頭の中に入れておきながらこれからも自分なりの答えを探しながら生活していきたいと思います。これからもまたメールするかもしれません。その時はよろしくお願いします。」とのメールが届いた。

「教育とは、生命活動のたがいに輔け合う関係」ということであれば、学生からの携帯メールからの問いかけは、まさに私の知力、力量の成長への「輔け」である。

(2002年11月17日 記)